

C O N T E N T S

特集

STI/HIV

はじめに | STI/HIVは、ある日突然、あなたを訪れる：より身近に感じるための1冊——817

●織田 鎌太郎 東京都立多摩総合医療センター 感染症内科

Part 1 STI：症状からのアプローチを中心に

1. STIの初期アプローチ：“Silent Pandemic”をもたらしている要素に注目する——821

●椎木 創一 沖縄県立中部病院 感染症内科

2. 梅毒：古くて新しい“The great imitator”——最近の傾向と対策——835

●谷崎 隆太郎 市立伊勢総合病院 内科・総合診療科

[コラム①] 風土病性トレポネーマ症：yaws(イチゴ腫), bejel(ベジェル), pinta(ピンタ)——848

●篠原 浩 京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学/京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部

3. 淋菌, クラミジア：疫学, 臨床像, 診断と治療のポイント——855

●嶋崎 鉄兵 杏林大学医学部付属病院 感染症科

4. STIを症状からアプローチする① 咽頭炎・扁桃炎・口腔内病変とSTI：耳鼻科医が診るSTI——861

●余田 敬子 東京女子医科大学附属足立医療センター 耳鼻咽喉科

5. STIを症状からアプローチする② 排尿時の違和感・痛みをみたら：

尿道炎におけるSTIのマネジメント——877

●的野 多加志 佐賀大学医学部附属病院 感染制御部

6. STIを症状からアプローチする③ 性器に潰瘍があったら：原因疾患ごとの特徴と診断方法——885

●長命 友梨・西村 翔 兵庫県立はりま姫路総合医療センター 感染症内科

7. STIを症状からアプローチする④ 腸炎から疑うSTI：感染部位の分類から整理する——895

●松尾 裕央 大阪大学医学部附属病院 感染症内科

8. エムポックス(Mpox)：基礎知識と日本での対応状況の整理——907

●石金 正裕 国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター/WHO 協力センター

9. 女性における陰部のトラブル：帯下異常, 腹痛, ならびに妊娠と性感染症——915

●柴田 綾子 淀川キリスト教病院 産婦人科

[コラム②] STIガイドラインの国際比較：包括的ケア, 経験的治療開始の扱いの差に注目——926

●三高 隼人 Division of Allergy and Infectious Diseases, Department of Medicine, University of Washington School of Medicine

Part 2 HIV

10. HIV感染症の診断：早期診断・早期治療のためのポイントと診断後のケア——933

●福島 一彰 がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科/感染制御科/感染対策室

●柳澤 如樹 柳沢クリニック/国立国際医療研究センター

[Special Article] 私が経験してきたHIVの歴史——943

●青木 眞 感染症コンサルタント

11. ART概論：「全例早期治療」「U=U」「PrEP」の時代——945

●塚田 訓久 埼玉医科大学総合医療センター 感染症科・感染制御科

●責任編集 織田 鍊太郎
東京都立多摩総合医療センター 感染症内科
野木 真将
亀田総合病院 総合内科/The Queen's Medical Center
Hospitalist
清田 雅智
飯塚病院 総合診療科

●編集委員 平岡 栄治 (東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科)
八重樫 牧人 (千葉西総合病院 内科)
清田 雅智 (飯塚病院 総合診療科)
石山 貴章 (セントルイス大学 内科 ホスピタリスト部門)
石丸 直人 (愛仁会明石医療センター 総合内科)
濱田 治 (愛仁会井上病院 総合内科)
藤谷 茂樹 (聖マリアンナ医科大学 救急医学/東京ベイ・浦安市川医療センター)
●顧問 徳田 安春 (臨床研修病院群プロジェクト群星沖縄)

12. AIDS総論・日和見感染症の初期評価：CD4数のモニタリングが重要なパラメータになる——957

●吉川 寛・谷口 俊文 千葉大学医学部附属病院 感染症内科

13. おさえておきたい日和見感染症(臓器別)①

呼吸器疾患(ニューモシス肺炎)：日本のHIV感染者の日和見感染症の半数近くを占める——965

●黒田 浩一 神戸市立医療センター中央市民病院 感染症科

呼吸器疾患(ニューモシス肺炎以外)：細菌性肺炎・クリプトコッカス症・CMV肺炎を中心に——977

●黒田 浩一

14. おさえておきたい日和見感染症(臓器別)②

中枢神経疾患：臨床症状/経過, CD4数, 画像的特徴の3つの軸で鑑別を絞り込む——993

●北浦 慧 東京大学医学部附属病院 感染制御部

●岡本 耕 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野/東京医科歯科大学病院 感染症内科・感染制御部

15. おさえておきたい日和見感染症(臓器別)③

消化管疾患：CD4数が低いからといって、慌ててすべての検索をする必要はない——1003

●村上 義郎・大路 剛 神戸大学医学部附属病院 感染症内科

16. おさえておきたい日和見感染症④ 抗酸菌感染症(結核・非結核性抗酸菌症)：

残存免疫の応答性の違いにより、非HIV症例とは異なる非典型的な症状となる——1017

●照屋 勝治 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

17. おさえておきたい日和見感染症⑤ ヘルペスウイルス関連疾患：

CMV, EBV, HHV-8を中心に——1029

●村松 崇 東京医科大学病院 臨床検査医学科

18. HIV陽性者と悪性腫瘍・悪性リンパ腫：ART時代にクローズアップされる重要なトピック——1039

●田中 勝 がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

19. HIV感染者の外来診療・ワクチン：非AIDS関連疾患のマネジメントがフォーカスされてきている——1047

●三輪 俊貴 東京大学医学部附属病院 感染症内科

●高松 茜 聖路加国際大学 公衆衛生学研究科

●本田 仁 藤田医科大学 微生物学講座・感染症科

[コラム③] 米国における HIV 研修の実際：

感染症フェローシップのなかで HIV 研修は中心的な役割を果たしている——1058

●松尾 貴公 テキサス大学ヒューストン校/MD アンダーソンがんセンター 感染症科

連載

Clinician Update——1064

●官澤 洋平・石丸 直人 愛仁会明石医療センター 総合内科

次号目次——1072

編集人——山下 隆久, 室井 宏仁, 佐藤 宏之

レイアウト・表紙デザイン——公和図書デザイン室(臼井弘志) / イラスト——ソルティフロッグ デザインスタジオ(サトウヒロシ)

注意 本誌に携わった全員が、本誌に示す情報が正確で、実臨床を反映したものとなるよう極力努力した。しかしながら、編著者ならびに出版社は、本誌の情報をういた結果生じたいかなる不都合に対しても責任を負うものではない。薬物の使用にあたっては、個々の薬物の添付文書を参照し、適応、用量、付加された注意・警告に関する変化を常に確認されたい。

